1 NEWS 村内で緑地工学実習
東京農業大学環境緑地学科の学生

東京農業大学の緑地工学実習は八月十七日から二十三日までの七日間、山王の里を拠点に村内で行われました。

今年で二年目となる実習には、東京農業大学環境緑地学科の学生など五十九人が参加。十七日から二十日までと、二十日から二十三日までの二グループに分かれての実習となりました。

前半のグループは昨年に引き続き、村農村体験交流施設「山王の里」周辺の整備に取り組みました。作業は、フェンスの一部を撤去し、昨年の実習で間伐した杉などを使い木柵の設置や施設周辺の草刈りなどの実習が行われました。後半のグループは、村が整備を行っている舘山公園で活動が行われました。八坂神社への階段整備や間伐、舘山公園の展望広場の整備などに取り組みました。

期間中、地元住民が指導を行い、また、実習三日目の夜には、住民との交流会が開かれ、バーベキューを楽しみながら交流を深めました。

八坂神社への階段の設置をする学生

木柵を取り付ける学生

2 NEWS 森林の大切さを学ぶ
江竜田の滝で夏休み森林教室

東白川地方公民館連絡協議会、県南地方林業協会、県南農林事務所主催の「夏休み森林教室」は八月五日、江竜田の滝で行われました。

自然とふれあい、森林の働きや必要性について学ぶことを目的とした教室には、郡内の小学生や一般の参加者など約二百二十人が参加しました。開会式・オリエンテーションのあと、十一班に分かれて間伐材を使った木工教室や江竜田の滝遊歩道の散策が行われました。

木工教室では、子どもたち一人ひとりが金づちとくぎで木製のイスをつくりました。散策では、遊歩道内に用意された「何があるかなクイズ」や「樹木当てクイズ」など五つのクイズに挑戦し、楽しみながら森林環境に理解を深めました。

写真上…クイズに挑戦する子どもたち／下…イスづくりに挑戦

3 NEWS 山登りで会員の交流深める
YAMA大好き苦楽部が会津駒ケ岳登山

村内の登山愛好者で組織する「YAMA大好き苦楽部」（本郷弘義会長）は七月二十五日、桧枝岐村の会津駒ケ岳（標高二一三三m）登山にチャレンジしました。

平成十四年に苦楽部ができてから、二千メートル級への登山は初めてで、参加者全員が気を引き締めての登山となりました。

天気にも恵まれ、山頂では、正面に東北地方の最高峰「燧ケ岳」や至仏山、遠くに日光白根山を望むことができ、全員大満足で下山しました。その日は桧枝岐温泉に宿泊し、会員同士の交流を深めました。

会津駒ケ岳山頂で（写真・記事提供／YAMA大好き苦楽部）

4 NEWS 小野・前田組が優秀賞
全日本少年少女武道（少林寺拳法）錬成大会

少林寺拳法福島鮫川支部（小松照義支部長）所属の小野彩実さん（鮫川小四年）と前田桃花さん（鮫川小三年）は、八月八日に日本武道館（東京都）で開かれた全日本少年少女武道錬成大会六級の部に出場し、見事優秀賞に選ばれました。

大会には全国から約3千人が参加。小野・前田組が出場したクラスには、百九組が出場し、二人一組で組み演武を披露。練習の成果を発揮し、好成績を納めました。

優秀賞に選ばれた小野さん（左）と前田さん

5 NEWS 釣り客で賑わう
朝日山下流ヤマメ釣り大会

朝日山に遊歩道を作る会（堀川信四郎会長）主催の朝日山下流ヤマメ釣り大会は八月二日、朝日山登山道西口付近で行われました。

大会には、地区住民や村内の釣り人約百二十人が参加。約三百五十メートルの区間に体長二〇センチから三〇センチほどのヤマメ約二百キロが放流され、参加者は自由に釣りを楽しみました。また、焼きそばやジュースなどの出店も並び、多くの人で賑わいました。

ヤマメ釣りを楽しむ参加者

6 NEWS 今後の肉用牛生産に期待
第34回福島県肉用牛共進会で二等二席を受賞

吉田和男さん（広畑）所有の牛「たきふく号」が七月二十五日、第三十四回福島県肉用牛共進会に東白川郡代表として出品し、見事二等二席を受賞しました。

「たきふく号」は、生後十八か月～二十一か月未満の部に出品され、九頭の中から選ばれました。

吉田さんは「村の代表、東白川の代表として出品できたことは、名誉なことであり、支えてくれた家族、すべての人に感謝したい」と話していました。

飼育した吉田さんと受賞した「たきふく号」